

## 2025 連合兵庫新年旗開きあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

2025 連合兵庫新年旗開きにご参加いただいた皆さまをはじめ、連合兵庫に結集する仲間が健やかに新年を迎えられたことをともに慶びあいたいと思います。

そして、本日、公務ご多忙のなか、多くのご来賓の皆さまにご臨席を賜りました。

主催者を代表し、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございます。この後、ご紹介させていただきご祝辞を賜りたく存じます。

さて、去年は、元日に能登半島地震が発生しました。被災地では多くの方々が避難生活を余儀なくされ、ようやく仮設住宅に入居できるようになった矢先に9月の豪雨災害にみまわれ、今なお避難生活を余儀なくされている方がいらっしやいます。厳しい環境下で新年を迎えられている方々に心よりお見舞い申し上げます。また、8月の宮崎県日向灘地震では、南海トラフ臨時情報が気象庁から発表され、巨大地震発生に対する緊張感が高まりました。改めて、大規模災害発生の危機を痛感させられた年でもありました。

そして年が明け1月17日、私たちは阪神・淡路大震災30年の節目を迎えます。兵庫県民にとって、とても大切な日であります。研究者によると向こう30年の間に南海トラフ大地震が発生する確率は7割とも言われています。

連合兵庫は、阪神・淡路大震災30年を契機に南海トラフ大地震をはじめ様々な災害から「忘れない」「備える」「伝える」取り組みとして、1月19日（日）にシンポジウムを開催いたします。阪神・淡路大震災を経験し、そこから学んだ教訓を防災、減災につなげていかなければなりません。組合員のみなさんをはじめ多くの方々に参加いただきますようお願い申し上げます。

2025年は、災害のない平穏な年となりますことを願いつつ、3点について所感を申し上げ年頭のあいさつに代えさせていただきます。

1点目は、2025春季生活闘争についてです。

22春闘からスタートした「未来づくり春闘」は4回目を迎えます。23春闘で「転換点をつくり」、昨年24春闘では「ステージ転換」に向けた一歩を踏み出し、33年振りとなる加重平均5%台の賃上げを実現しました。そして2025春闘は、その流れを確固たるものとし、賃上げを起点とした「成長と分配の好循環」を実現させるための「巡行軌道」に乗せるとの方針を決定しました。

連合兵庫は、昨年1月30日に開催した兵庫県政労使会議で確認した、共同メッセージの労務費含めた価格転嫁や生産性向上について具現化し、あらゆる機会を通じて機運の醸成をはかって参ります。全構成組織の賛同をお願いします。

2点目は、組織拡大と新たな挑戦についてです。

昨年12月18日に厚生労働省が発表した労働組合の推定組織率は16.1%で組合員の減少に歯止めがかかっていません。私たち連合は、働く仲間の社会的・経済的地位の向上や価値を高めるため組織拡大に徹底的に拘って取り組んで参りましたが、まだまだ道半ばです。

前段に述べた春闘で、組合のある職場とない職場とでは、賃上げ率に1%の開きがあることや、労働条件、職場環境改善に組織化は優位であることに変わりはありません。昨年、連合結成35年を迎えました。掲げた理念は『平和・  
幸せ・道ひらく』です。幸せ、道ひらくに込めた思は連合運動の <sup>みちしるべ</sup>道標 であり、すべての働く仲間の幸せを思い集团的労使関係の輪に加わってもらえる魅力ある運動が求められます。この度、兵庫県経営者協会と連合兵庫は、兵庫県政労使会議で確認した共同メッセージにある「生産性の向上」に資する取り組

みとして、「労働者過半数代表」選出の適正化に向けて協同していくことを確認しました。

周知のとおり過半数代表制は労働基準法に規定されていますが、昨年7月に厚生労働省が公表した『働き方改革』の定着状況に関する調査結果によれば、36協定の認知率は「49.2%」でした。実に半数以上の企業が36協定を認知していないという結果です。

安定した労使関係が生産性の向上に寄与することは、統計的にも証明されています。労使が互いを尊重し風通しの良い職場をつくることを目的に、まずは経営者協会の会員企業を中心に、労働者過半数代表の適切化を通じ、生産性向上を図ることが組織化につながる土台となります。構成組織のご理解と協力をお願いします。

最後に、政治について申し上げます。

今年の衆議院選挙では、自民党派閥の裏金問題が発覚し、長年蔓延ってきた金権政治に終止符を打つべく、連合は「与党を過半数割れに追い込み政治をリセットする」と明確な目標を掲げ、支援する立憲民主党、国民民主党の推薦、支持候補者当選に向けて取り組み、立憲民主党、国民民主党ともに大幅な議席を獲得し、与党を15年ぶりに過半数割れに追い込み目標を達成できました。

少数与党となった自公政権は、これまでの圧倒的多数の数の力による強引な政権運営が行えなくなり、全ての法案成立には、何れかの野党との協力なしに進めることができなくなりました。

このことは、政党が政策で切磋琢磨し緊張感ある政治体制を求めてきた、連合の政治方針でも掲げられていますし、大きな成果であります。

そして、次なる目標である政権交代に向けて、7月に施行される第27回参議院議員選挙の重要性が増します。

連合が一枚岩となって取り組むためには、立憲民主党、国民民主党が核となった政治体制の確立が不可欠ですし、そのための政党間の調整無くして勝利はありません。

与党の総議席数140議席から17議席を奪取できれば与党を過半数割れに追い込むことができますし、不可能な数字ではありません。

目下、比例区の連合組織内候補9名全員の当選に向けた産別・構成組織は全力で取り組みを進めています。それに加えて、兵庫選挙区の議席獲得が必要不可欠です。連合兵庫の構成組織、地域協議会が一丸となって取り組むことを確認し合いたいと思います。

昨年の衆議院選挙において、立憲、国民両党県連と連合兵庫とで締結した三者合意を踏まえ、参議院兵庫選挙区における候補者の擁立と支援体制を早期に確立するため、立憲、国民両党県連と連合兵庫とで解を導きだして参ります。来るべき決戦に向けて連合兵庫全組合員の力を結集することをお願いします。

その他、ジェンダー平等推進計画フェーズ2、中央交付金に備えた組織運営のあり方、地域ゼネラル連合創設など、2025年も多くの課題が山積しています。皆さんとともに「挑戦し続ける連合兵庫」を合言葉に運動を進めて参ります。

2025年が連合兵庫の飛躍と、ご参集の皆さまにとりまして実り多い1年となりますことを祈念し年頭のあいさつとします。ともに頑張りましょう。

以 上